

## 令和5年度 【 学園研究費助成金&lt; B &gt; 】 研究成果報告書

学部名 文化情報学部

氏名 羽成隆司

研究期間 令和5年度

研究課題名 地域における景観色彩の分析

## 研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	羽成隆司	文化情報学部	教授

## 1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

わが国の町並みの景観は、建物、広告物、標識、電線、道路、植栽等、数多くの要素で構成されているが、企画・施工・管理の責任者が異なるため、個々の事物は魅力的であっても、町並み全体の美しさが損なわれていることが非常に多い。とくに、色彩の側面についてはその傾向が顕著であり、結果として「騒色」とも呼ばれる醜い景観色彩が多々見られるに至っている。町並みの景観は、そこで暮らす人はもちろん、一時的に通過するだけの人にとっても、精神的な安定や幸福感に不可欠な要素であり、色彩心理学が検討すべき重要な学術的なテーマであると考えられる。本研究では、大都市の景観整備地区の町並みや店舗画像等を収集することを目的とする。

## 2. 研究の推進方策 (300字程度で記述)

東京都港区(青山通)、名古屋市(覚王山周辺ほか)、京都市(御池通、烏丸通、四条通、三条通)、大阪市(御堂筋)、奈良市(近鉄奈良駅周辺、ならまち、JR奈良駅周辺)、岡山市(桃太郎通)、金沢市(香林坊地区)で、景観計画が策定されているエリアから画像を収集する対象の範囲を設定した。本年度の段階では、これらのエリアの代表的店舗(全国展開しているチェーン、有名企業、金融機関の各支店等)、および、それらがある街並みの画像を多数収集することに集中した。画像は、スマートフォンで撮影できるレベルとした。次年度以降は、これらの画像を使用して、心理学実験で印象評価の結果を分析する研究を構想している。

### 3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

本年度においては、東京都港区(青山通)、名古屋市(覚王山周辺ほか)、京都市(御池通、烏丸通、四条通、三条通)、大阪市(御堂筋)、奈良市(近鉄奈良駅周辺、ならまち、JR奈良駅周辺)、岡山市(桃太郎通)、金沢市(香林坊地区)で、景観計画が策定されているエリアから、店舗ファサードデザインや街並みに着目した画像収集を行った。対象とした店舗の業種は、カフェ・喫茶、コンビニエンスストア、ファストフード、銀行・証券等金融機関等の支店・代理店であった。上記各エリアにおいて、各100枚以上程度の画像収集を行った。店舗においてとくに撮影の対象としたのは、店舗全体、表示されている店名看板、コーポレートアイデンティティを象徴するロゴマーク等であった。また、各店舗が置かれている街並みの画像も収集した。それらに用いられている色彩属性についての視感測色も行った。収集した膨大な画像を参照しながら、次年度に計画している、各画像に記録された店舗に対する印象評価実験の計画を策定した。実験用画像の準備、色彩修正、使用するモニターの準備、被験者への質問項目作成も行った。

また、収集した画像について、ファサードデザイン、店名を示す看板、ロゴマーク等が、各地区の景観計画とどのように対応しているかについて整理を行った。各地区で、また、業種等によってどのように看板やロゴマーク等のコーポレートアイデンティティに関わる表示が変更されているかについても分類した。その際、とくに色彩属性の変更のされ方に着目した。これらについては、下記に示すように、日本建築学会東海支部研究集会で発表した。

### 4. キーワード (本研究のキーワードを1項目以上8項目以内で記載)

①景観色彩	②景観計画	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

### 5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。

既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

- 1)柴原奏音他6名「観計画における色彩基準と店舗ファサードデザイン変更の実態 その2 大阪・京都・金沢の重点地区における実態調査と店舗のCI要素の変更手法の分類」(一社)日本建築学会東海支部2023年度東海支部研究集会(2024年2月20日)
- 2)小野友加他6名「景観計画における色彩基準と店舗ファサードデザイン変更の実態 その3 カフェ喫茶・コンビニ・ファーストフードにおけるCI要素の変更対応の実態」(一社)日本建築学会東海支部2023年度東海支部研究集会(2024年2月20日)
- 3)竹内有咲他6名「景観計画における色彩基準と店舗ファサードデザイン変更の実態 その4 銀行証券・総合ストア・代理店におけるCI要素の変更対応の実態」(一社)日本建築学会東海支部2023年度東海支部研究集会(2024年2月20日)

次年度は、収集した画像を刺激に用いた印象評価実験を行う計画である。